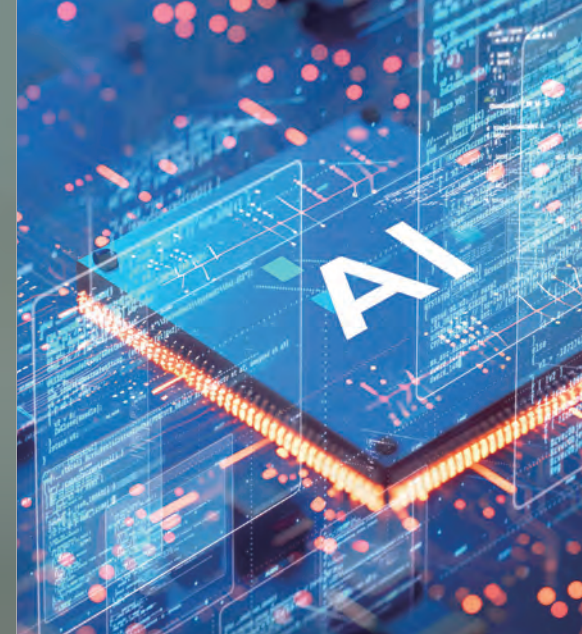
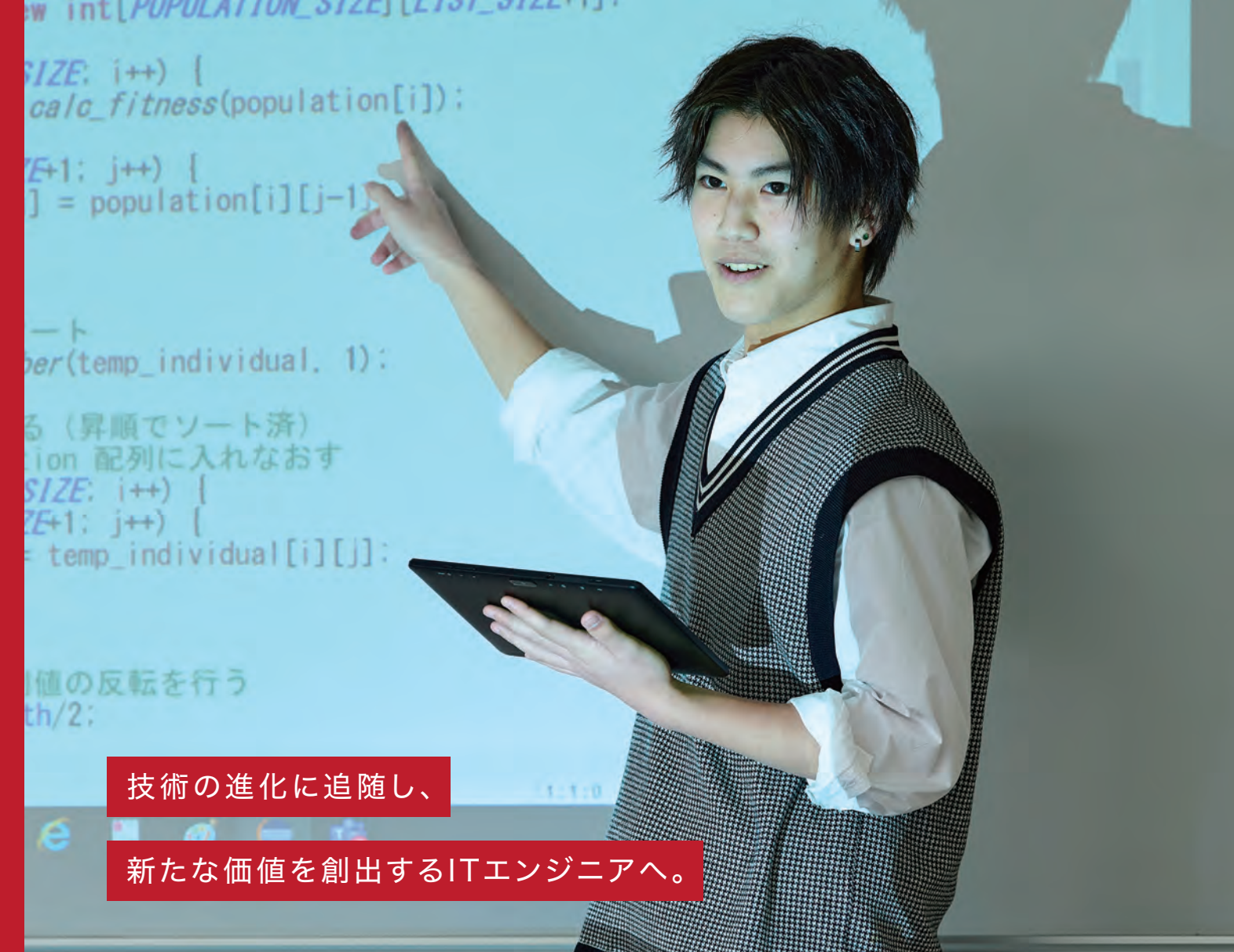




技術の進化に追従し、

新たな価値を創出するITエンジニアへ。

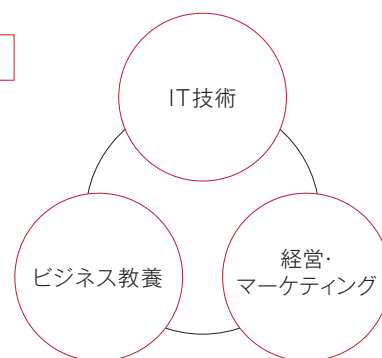
高度ITエンジニア科

4年制

定員 25名

4年制大学併修(産業能率大学 情報マネジメント学部)

生成AIなどの新しい技術が世の中をより便利にし、絶えず進化させています。本科では、プログラミングやネットワーク・セキュリティ、データベースなどのIT技術に加え、経営やプロジェクト管理、マーケティングなどのビジネス知識から応用までを4年間で修得し、実社会で役立つシステムを提案・構築、活用できる高度ITエンジニアを育成します。



ディプロマポリシー (卒業認定・高度専門士授与の方針)

地域社会に愛される
技術者として、
他者と協働し、自らを高め
学び続けることができる
[学びに向かう力・人間性]

社会を支える
情報システム構築に必要な、
ICTの専門知識と
実践力を身に付けている
[知識・技能]

ビッグデータにも対応した
ICT基盤構築のための
専門知識と実践力を
身に付けている
[知識・技能]

修得した技術と
実践力を結集し、
自ら考え判断し、問題解決に
取り組むことができる
[思考力・判断力・表現力]

目指す職業

クラウドエンジニア
ネットワークエンジニア
セキュリティエンジニア
サーバエンジニア
データサイエンティスト
システムエンジニア など

取得目標資格

- 情報処理技術者試験
 - ・【国家資格】基本情報技術者試験
 - ・【国家資格】応用情報技術者試験
 - ・【国家資格】ネットワークスペシャリスト試験
 - ・【国家資格】データベーススペシャリスト試験
 - ・【国家資格】情報処理安全確保支援士
 - ・【国家資格】情報セキュリティマネジメント試験
- Java™プログラミング能力認定試験
- Linuxレベル1(101・102試験)
- AWS Certified Cloud Practitioner認定
- マイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS) Excel

主な就職先 4年間の学習内容を活かし、様々な分野のITエンジニアとして活躍します。

NTTデータ先端技術(株) SB C&S(株)ノソフトバンクグループ GMOインターネット(株) (株)NTT-ME (株)アイエイアイ 矢崎総業(株) 明電システムソリューション(株) パーパス(株)	NECネットエスアイ・サービス(株) TDCソフト(株) (株)SBS情報システム NSW(株) 日産モーターススポーツ&カスタマイズ(株) (株)ミライトワンシステムズ (株)静岡県農協電算センター (株)TOKAIコミュニケーションズ	テックインフォメーションシステムズ(株) (株)IIJエンジニアリング (株)システナ (株)アルファシステムズ (株)メトロ CTCシステムマネジメント(株) TISソリューションリンク(株) SBテクノロジー(株)	富士テレコム(株) (株)Newデシス (株)ゼネテック (株)テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング社 アイフル(株) (株)建設システム (株)アイズ・ソフトウェア 静岡県警察(警察行政職員/高度情報技術者)ほか
--	--	--	--

学びのポイント

1 次世代で活躍できるITエンジニア

AIを活用しながら、提案・企画・設計などの上流工程において、より新しい価値を見出すことができるITエンジニアを目指します。そのために必要なカリキュラム構成となっています。

2 進化に追従するための基礎をしっかりと学ぶ

技術が進化しても変わらない、基礎技術を4年間でしっかり学びます。知識の習得から、設計・開発の経験まで、丁寧に学び、技術の進化に追従していくための基礎作りをします。

3 時代に即した開発を経験

習得した基礎技術をもとに、新しい開発手法や、クラウドサービスの活用など、時代に沿った開発について学習し、経験します。これにより、就職後に即戦力となる人材を目指します。

4 企業と連携したリアルな開発を経験

連携企業から提示される現実に近いリアルな課題に取り組み、実社会でのシステム構築を想定したユーザーに求められるシステムを開発できるスキルを身に付けます。

5 多岐に渡る技術から好きな分野を発見

プログラミング、ネットワーク、サーバ、セキュリティなど多岐に渡るIT技術の中から、自分が好きだと思う分野を見つけ、自分だけの強みを伸ばしていくことができます。

6 ITだけでなくビジネス教養も

IT技術だけでなく、経営やマーケティングなどのビジネス教養分野も大学併修の授業で学ぶことができます。結果、学士(大学卒業の学位)を取得することができます。技術者以外の視点・知識も身に付けます。

IoT・AI・ビジネスに関する知識・技術

■ プログラム言語I・II・III・IV

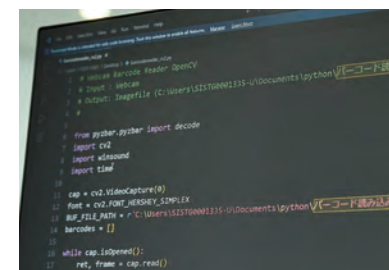
アプリケーション開発のためのプログラミングを習得する。



スマートフォンやWeb上のアプリケーションにも活用されるJavaをはじめ、Windowsのシステム開発に活用されるC#など、段階的にレベルを上げながらプログラミングを習得していきます。身につけた技術を使って、マルチデバイスや組み込み系のシステムを開発する演習にも取り組みます。

■ AIアルゴリズム・AI演習

AIプログラミング活用に必要な技術を学ぶ。



AIプログラミングの仕組みや処理の流れについて学び、Python言語を利用した開発を経験します。世の中のAI活用術を身に付け、より高度な技術について理解します。

■ マネジメント戦略論

企業活動の基本を理解し、ビジネスへの関心を深める。



企業における戦略とは何か、企業経営の基本から学びます。ICTを活用した成功事例を中心に、最先端技術を有するグローバル企業から地域の企業まで、具体例を通じて企業の戦略を理解していきます。プログラミング等の技術の活かし方がイメージできるため、技術の習得意欲も高まっていきます。

充実した環境で質の高い知識と技術を学び、目指していたITの世界へ進みます。

情報に関することだけでなく大卒の資格も取得できることを知り、オープンキャンパスに参加。「ここならエンジニアを目指せる!」と思い、入学を決めました。特に印象に残っているのが「インフラ構築演習」という授業。友人たちと班を作り、作業を分担して協力しながら行うのですが、現場でも使われる機械を用いてとても本格的な勉強ができました。また、合宿形式で行われる「セキュリティ・キャンプ」に参加したときは大きな刺激を受け、セキュリティエンジニアになりたい!と明確な進路をイメージするようになりました。国家資格である「応用情報技術者試験」も取得。壁を超えることができたので、より高いレベルの知識と技術を身につけて成長していきます。



先輩

杉山 翔太さん
沼津工業高等学校出身



世界と繋がるネットワークの基盤を守る。
それが僕の使命です。

セキュリティやネットワークのことを深く学びたいと思い、高度ITビジネス科への進学を決めました。実践的な授業を通じて成長を実感する中で、興味のあったネットワークの世界に触れ、日本の基盤を支えられるような仕事がしたいというようになりました。念願がかなってNTT東日本グループのインフラエンジニアとして就職し、設備の保守業務をメインに行っています。設備に故障が起きた際、部品の交換は必要なのか、どのように修理すればよいのかなどを考えながら適切に修理を行い、「故障が回復しました」とアウンスされたときはとてもやりがいを感じます。新しいネットワーク技術の開発や設計に携わりたいという目標もあります。今後も変わりゆくITの技術を学び続け、成長していきたいです。

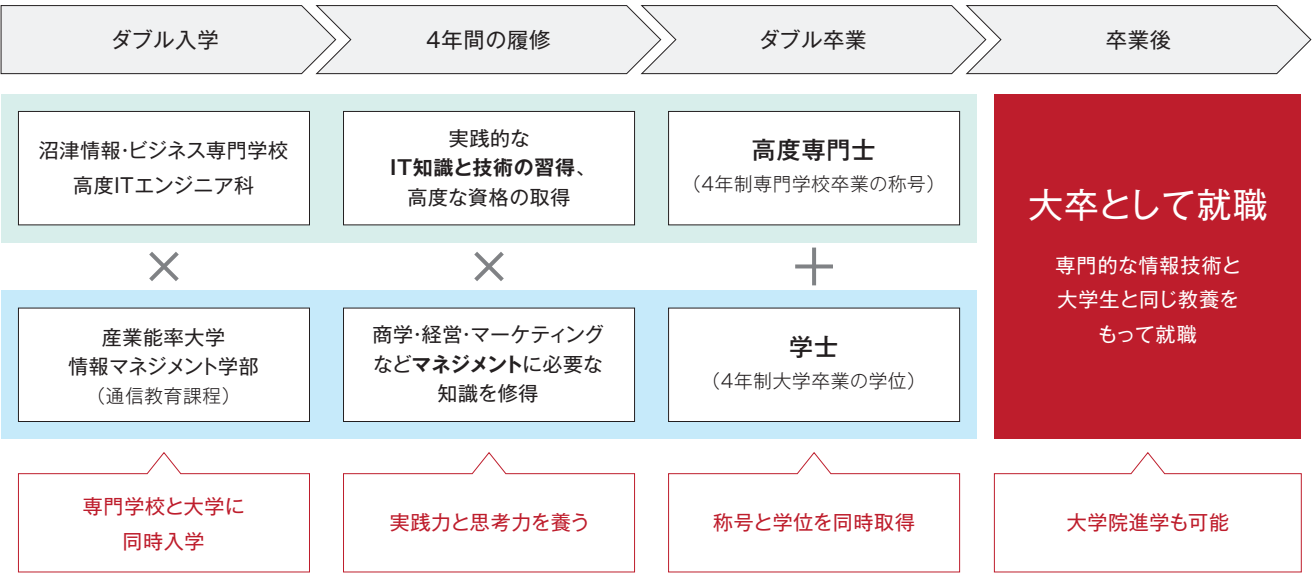


卒業生

NTT-ME
(株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー)
インフラエンジニア

久保田 龍成さん
高度ITビジネス科(旧学科名) 2022年度卒業
伊豆総合高等学校出身

4年間で専門学校と大学のカリキュラムを同時に学び
高度専門士(専門学校卒)と学士(4年制大学卒)のW取得を目指す。



基盤となるのは高度専門士のカリキュラム。
実習・演習を中心とした授業で実践力を磨きます。

専門学校の学びの中心は、技術を習得するための実習です。プログラミングであれば実際にPCを使ってプログラムをつくり、サーバの知識を得るためには実際にサーバに触って理解していきます。また、本校の高度ITエンジニア科は職業実践専門課程にも認定されており、企業や地域社会から与えられるリアルな課題に取り組むことで実践力を磨いています。

応用力を高めるのは大学併修のカリキュラム。
身につけたICTのスキルをビジネスに役立てる手段を学びます。

高度専門士課程で学ぶ技術に加えて、視野を広げ応用力を高めていくのが大学併修のカリキュラムです。経営やマーケティングなどの幅広い教養と知識を得ることによって、プログラミング、サーバ、データベース、ネットワーク等に関する技術をビジネスの世界で役立てるための手段を手に入れることができます。同時に、社会に関する関心も高まっていきます。



一人ひとりの学びたいという気持ちを最大限の熱量で応援します。

社会人になった時のことを想像してみてください。ある企業に入社し、新人として初めての仕事を教えてもらいながら働いている姿が予想できると思います。早く新人を卒業し、一人前として仕事を任せられるよう、在学中から限りなく業界の仕事に近い実践的授業を肌で学びます。学んだ知識を実際の仕事にどうリンクして吸収するかに重みを置く教育です。そのために、充実した4年間の学びの中で知識、技術、教養を身につけるための中身の厚いカリキュラムを用意しています。自ら学び、自ら実践し、前に進む強い意志さえあれば、価値ある未来を掴むことができます。皆さんの学びたい気持ちを、それ以上の熱量でサポートします。

高度ITエンジニア科教員 植松 甫先生

大学併修の学習計画は、4年間で卒業ができるよう、綿密に計画をしています。
専門学校の授業の中で単位修得に向けてレポート提出期限や科目修得試験のスケジュール管理などのサポートを行っています。

沼津情報・ビジネス専門学校 高度ITエンジニア科の科目		産業能率大学 情報マネジメント学部の科目		
専門学校科目	単位認定科目	単位互換科目	スクーリング科目	自己取得科目
	60単位			64単位

- 高度ITエンジニア科の授業や取得資格が大学の単位として認められる！
 - 単位認定科目
大学のカリキュラム履修に相当するとみなされ、専門学校で受講した科目が大学の単位として認められます。
 - 技能審査単位認定
大学が認める資格試験に合格すると大学の単位として認められます。
(基本情報技術者試験の場合4単位、応用情報技術者試験の場合6単位など)
- 学習計画は沼津情報・ビジネス専門学校で計画立案をしサポート。
 - スクーリング科目
一般の通信教育と異なり、スクーリング(オンラインスクーリング)はすべて本校へ登校し実施します。スクーリングは1年間で前期1科目、後期2科目のペースが標準ペースとなり、年で8単位分を取得、4年間で30単位を目指します。(単位認定される本校の科目もスクーリング単位に含まれます)

産業能率大学 情報マネジメント学部 通信教育課程

1925年に設立された日本産業能率研究所を母体にして誕生した大学で、創立以来マネジメント分野の教育・研究に取り組んでいます。大学、大学院、短大のほか、総合研究所において企業の人材育成を支援しています。キャンパスは都内(自由が丘、代官山)と神奈川県(伊勢原市)にあり、経営学部と情報マネジメント学部を設置しています。

先輩 望月 春佳さん 富士宮北高等学校出身

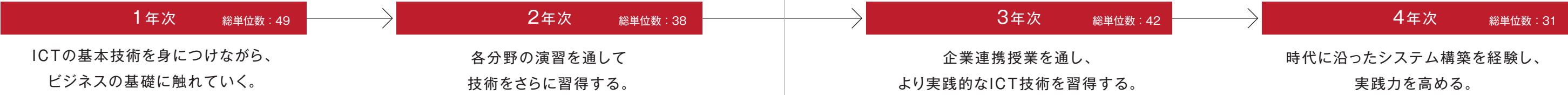
専門学校と大学の授業を両立する中で、社会で即戦力となれる自分がイメージできるようになりました。

情報系の道に進もうと考えていた時、4年をかけてじっくり深く学べることや、少人数制で担任の先生がいることなどに魅力を感じて高度ITビジネス科(旧学科名)への進学を決めました。先生との距離が近くて相談しやすく、笑いの絶えないクラスメイトに囲まれて充実した日々を送っています。授業の中には大学の単位認定科目もあって、スクーリング科目もオンラインで受講でき、テストで合格すれば大学の単位を取得できます。さらに大卒として就職活動ができますし、簿記や仕事の生産性といったビジネススキルを身につけることもできて、以前は消極的だった自分が積極的に変わり、自然と自信が身についてくるようになりました。社会人として働き始めれば、結果が全ての世界。国家資格「応用情報技術者試験」取得を目標に、即戦力となれるITエンジニアを目指して学び続けていきたいです。

1週間のスケジュール例	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限目	ITストラテジ	コンピュータ概論	データ構造	アルゴリズムⅡ	システム開発技術基礎
2限目	ITマネジメント	産業能率大学レポート	アルゴリズムⅠ	産業能率大学レポート	ソフトウェア
3限目	プログラム言語Ⅰ	ICT基礎	ネットワーク	ハードウェアⅠ	コミュニケーションスキル
4限目	プログラム言語Ⅰ	データベース	セキュリティ	ハードウェアⅠ	

カリキュラム

4年をかけて、高度化する情報化社会に挑むエンジニアを育成する。



● 一般科目 ※()は1～4年次で単位を取得
社会人に求められる教養とともに、様々なシーンで求められるプレゼンテーション技術の基本を身につけます。

科目名	単位
コミュニティサービス	(1)
コミュニケーションスキル	2
情報分析入門	2
マネジメント入門	2
簿記I	2
ICT基礎	1
ICT利用技術	2
プレゼンテーション	1
表計算利用技術	1

● 専門科目
コンピュータやネットワークに関する基礎知識を身につけ、ITエンジニアとしての基盤をつくります。プログラミングについては、プログラム言語の入門であるPythonを習得します。

科目名	単位
コンピュータ概論	2
ソフトウェア	2
ハードウェアI	2
ハードウェアII	2
データ構造	1
アルゴリズムI	2
アルゴリズムII	1
システム開発技術基礎	2
データベース	2
データベース技術I	2
ITストラテジ	2
ITマネジメント	2
ネットワーク	2
ネットワーク技術I	2
セキュリティ	2
プログラム言語I	2
プログラム言語II	2
オブジェクト指向設計	2
システム制作演習	2

● 一般科目 ※()は1～4年次で単位を取得
社会人にとって必要な社会常識やマナー、問題解決能力など様々なスキルの習得を目指します。

科目名	単位
コミュニティサービス	(1)
ビジネスマインド	1
ビジネスマネジメント	2
仕事効率化	2
ビジネスマナー	2
ロジカルシンキング	2
課題解決手法	2
マネジメント実践	2
社会学概論	2
心理学入門	2
メンタルヘルス入門	2

● 専門科目
Web上のシステム構築に必要なプログラムやデータベースの基礎知識を身につけ、小規模LANを構築します。Java™プログラミング能力認定試験などのベンダー試験に挑戦します。

科目名	単位
データベース技術II	2
ネットワーク技術II	2
セキュリティ技術I	2
セキュリティ技術II	1
Webページ制作	2
プログラム言語III	2
プログラム言語IV	2
サーバ構築基礎	2
サーバ構築技術I	2
インフラ構築演習	2

● 選択必須科目 ※()は1～4年次で単位を取得
より高度な資格の取得を目指して、4年間の中でいずれか1科目以上を履修します。

「基本情報技術者講座」2単位を基準とし、「応用情報技術者講座」を合格した場合はさらに4単位、「高度区分情報技術者講座」を合格した場合はさらに6単位を付与します。

科目名	単位
基本情報技術者講座	(2)
応用情報技術者講座	(4)
高度区分情報技術者講座	(6)

ひとつずつ基礎を積み上げながら、4年をかけてWebアプリケーション、サーバ、クラウドシステム等を構築できるレベルまで実践力を高めていきます。エンジニアに求められる知識・技術を習得した上で、それを証明するための資格取得にも挑戦。企業課題では学んだビジネススキルを発揮していきます。

● 一般科目 ※()は1～4年次で単位を取得
マネジメントや経営戦略を学び、戦略的発想を持って取り組める知識・スキルを習得します。

科目名	単位
コミュニティサービス	(1)
キャリアディベロップメント	1
マネジメント行動指針	2
マネジメント戦略論	2
経営原理	2
知的思考法	2
メンタルマネジメント	2
職場管理	2
簿記II	2
マーケティング論	2
ヒューマンマネジメント	2

● 専門科目
企業から与えられるWebやモバイルのアプリケーション開発の課題を通じてプログラミング技術を磨き、発想力やプロジェクト遂行能力も高めていきます。

科目名	単位
システム開発技術応用	2
プロジェクトマネジメント	2
ビジネスインダストリ	2
Webアプリケーション基礎	2
Webアプリケーション応用	2
プログラム言語V	2
制御プログラム基礎	2
制御プログラム応用	2
マルチデバイスプログラム基礎	2
マルチデバイスプログラム応用	2
企業課題演習	3

● 一般科目 ※()は1～4年次で単位を取得
充実した就活を行うために企業研究や試験対策にも力を入れ、コミュニケーション能力をさらに磨きます。

科目名	単位
コミュニティサービス	(1)
就職活動ゼミ	1
リスクマネジメント	2
ビジネス倫理	2

● 専門科目
Pythonを使ったクラウドシステム構築の演習として、企業連携による実社会の課題に挑みます。コンテンツや卒業制作にも取り組み、技術レベルを上げていきます。

科目名	単位
情報セキュリティマネジメント	2
企業インシデント総論	2
クラウド技術	2
AIアルゴリズム	2
AI演習	1
サーバ構築技術II	2
サーバ構築技術III	2
オープンデータ活用演習	2
ブロックチェーン技術	2
先端情報技術特論	2
卒業制作I	3
卒業制作II	4

大学併修 自己取得科目 4年間で64単位

■自由が丘とブランディング

■世界の歴史

■小論文の書き方入門

■コミュニケーション論

■現代企業に見る日本社会

■ビジネス文書&メールの書き方

■自己の育て方

■経営思想の流れをつかむ

■グローバルマインドを磨く

■異文化コミュニケーション論

■企画力を強化する

■環境論入門

■健康とスポーツ

■私たちの生活環境とリスク

ほか